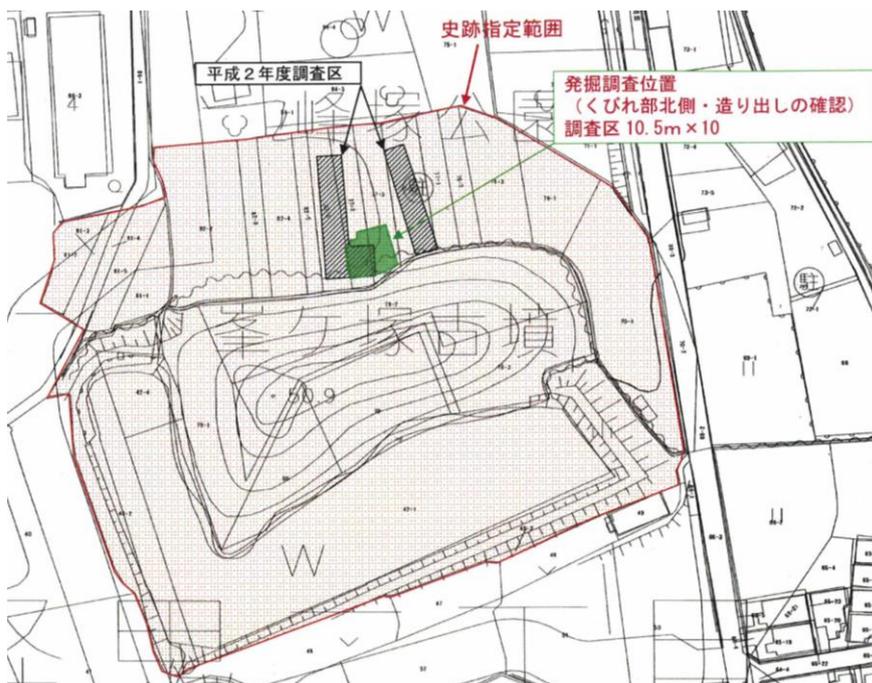


【羽曳野市】令和元年度 史跡古市古墳群峯ヶ塚古墳整備事業にかかる発掘調査について

1. 所在地 羽曳野市軽里2丁目地内
2. 位置 古墳くびれ部北側 造出し部分
3. 調査の目的 古墳の復元整備事業に伴い、これまでに15回にわたって古墳の形態や構造の基本的な資料を得るための確認調査を継続して実施している。
当該地は平成2年度の確認調査において、造出しの存在が確認されたが、その規模や構造などが不明確な状況であった。そのため、整備検討委員会において「整備にあたり造出しの位置や規模、構造などを面的に明らかにする必要がある」との指摘を受け、今年度、確認調査を実施したものである。(調査位置については下記参照)

5. 調査について

- ①調査面積 幅約10.5m×長さ約10mの調査区で、約105㎡。
- ②調査期間 令和元年11月11日から令和元年12月27日(予定)
- ③調査方法 造成土及び旧耕作土等を重機で掘削した後、前回の調査区を検出し、造出し部分の地山面や転落した葺石等を人力で精査した。また、墳丘部分に調査区を設定し、造出し部分が墳丘斜面にどのように取付くかの確認に努めた。
- ④調査成果
 - ・平成2年度と同様に造出し北側の濠内堆積土が確認された。
 - (現況) ・葺石が多数見つかるが、その多くが転落した状況である。一部、地山面に密着するものがあり、原位置を留めるものと考えられる。これまで、葺石は墳丘二段目の裾部分のみに施されると考えていたが、造出しの斜面にも施された可能性が考えられる。
 - ・造出しの墳丘斜面への取付き部分が確認できていないが、現状の一段目テラスの高さを勘案すると、一段目斜面に取付く可能性が高いと考えられる。
 - ・復元される後円部裾が想定位置で検出されず、調査範囲外となる見込である。



調査区位置図



(写真は天が墳丘側)

史跡古市古墳群 城山古墳・唐櫃山古墳 整備計画 スケジュール案 (藤井寺市)

項目	計画等	内容等	R2年度(2020)				R3年度(2021)				R4年度(2022)				R5年度(2023)				R6年度(2024)				
			4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	
史跡古市古墳群	古墳の整備	城山古墳			緊急整備																		
		唐櫃山古墳			発掘調査		報告書作成		整備の検討・実施計画・設計等作成(調整中)				整備工事(調整中)										

城山古墳 : 墳丘の表土の流失している8箇所について、これ以上の損傷を防ぐことを目的とした緊急整備を、令和元年度に実施した。
令和2年度は、残る1箇所の緊急整備を実施する。

唐櫃山古墳 : 墳丘・濠・堤の本整備を行うためのデータを得ることを目的とした確認調査を、令和2年度に実施する。